

## IV 尾張地域の重点プロジェクト

キーワードである「多様な担い手の確保・育成」、「地元応援対策」、「防災減災対策」に着目して、本地域の特長を生かした3プロジェクト、7のテーマを設定し、その実現に必要な各種の取組をパッケージ化して、「重点プロジェクト」とし、市町、農林水産業団体、その他関係機関と連携し、効果的な施策の展開を図ります。

プロジェクト	テーマ
1 あいちの農業 元気な担い手の確保・育成プロジェクト	
(1)	多様な担い手の確保・育成 ～市町・農業団体等の農業塾と連携・協力して 「新しい担い手」を育成します～
(2)	水田農業の維持・発展 ～大規模個別経営体やJA出資法人等を核に 水田農業の確立を目指します～
(3)	園芸産地のパワーアップ ～露地野菜産地・果樹産地のパワーアップと 施設園芸におけるICT活用を図ります～
2 地元応援プロジェクト	
(1)	都市農業の推進 ～市町や農業団体等と協力して、農業体験の取組を通して 農業の理解促進を進めます～
(2)	直売所の地域交流拠点化 ～直売所を地域交流拠点として、生産者と消費者との交流を 促進します～
(3)	地産地消・ブランド力の強化 ～地元の人が地元のモノを愛し、地元のモノを買って食べる 「地元応援」キャンペーンを展開します～
3 県民の命を守る防災・減災対策プロジェクト	
	～県土の強靱化を図り、農山漁村の豊かな暮らしを守ります～

# 1 あいちの農業 元気な担い手の確保・育成プロジェクト

## (1) 多様な担い手の確保・育成

～市町・農業団体等の農業塾と連携・協力して「新しい担い手」を育成します～

多様な担い手を確保・育成するため、市町やJ Aが開催する農業塾との連携のもと、新規参入者や定年退職者等の多様な就農希望者の知識・技術習得を支援するとともに、卒塾生の就農とともに就農後の営農の早期定着化の取組を支援します。加えて、市町との連携のもと、ふれあい農業に取り組む女性等の育成を進め、自家野菜の栽培等による都市部の農地保全を図ります。また、就農や雇用の受け皿となる意欲ある担い手の法人化等を支援します。

### 背景

- 14市町と2J Aで農業塾が開催されており、毎年約500人が農業を学んでいます。
- 一宮市・稲沢市・JA愛知西による「はつらつ農業塾」の卒塾生4名が木曾川町玉葱採種組合に新規加入し、活躍しています。
- 農業にふれあってみたいが、どうしたら良いのかという女性等の一般県民の声があります。
- 小牧市・春日井市、犬山市でモモの栽培サポーターを養成しています。

### 主な取組

#### 【農業塾を活用した多様な担い手の育成支援】

- ・市町やJ Aと連携し、新規参入希望者や定年退職者等を受入れ、担い手として育成する農業塾の設置・運営を支援します。
- ・農業塾卒塾生の就農とともに就農の形態に応じた営農の早期定着化を支援します。
- ・農業塾の地域連絡会議を開催し情報共有を図ります。

#### 【農業にふれあいたい女性等の支援】

- ・市町を窓口に、一般県民（特に女性）のビギナーズを募集し、野菜づくりなどふれあい農業への取組を支援します。
- ・青年・女性農業者が担い手として活躍できるよう、さまざまなスキルアップの取組を支援します。

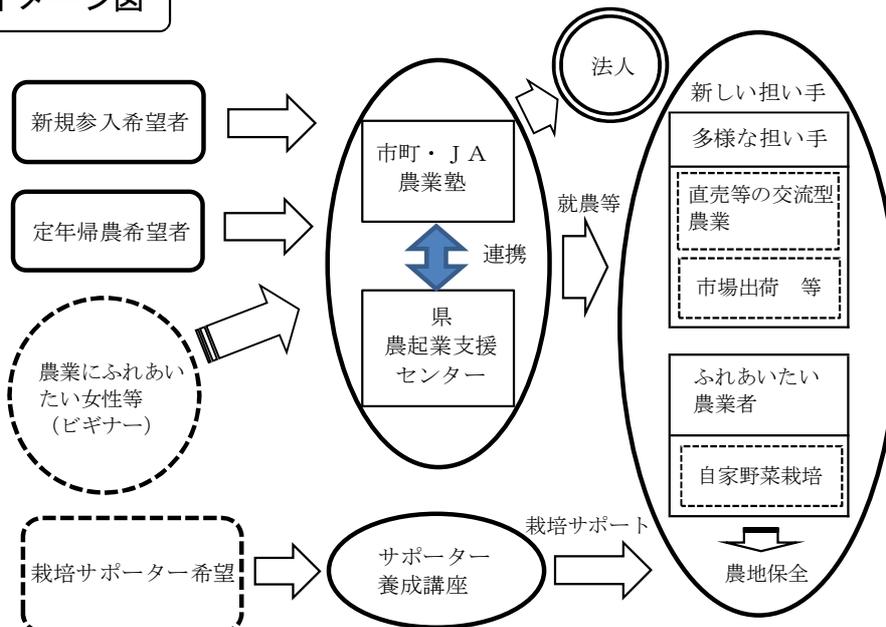
#### 【栽培サポーターの養成】

- ・一般県民が農業者の農作業を支援する栽培サポーター養成の取組を支援します。

#### 【就農や雇用の受け皿となる法人の支援】

- ・就農や雇用の受け皿となる意欲ある担い手の法人化等を支援します。

### イメージ図



農業塾出身の女性農業者



栽培サポーターの養成

# 1 あいちの農業 元気な担い手の確保・育成プロジェクト

## (2) 水田農業の維持・発展

～大規模個別経営体やJA出資法人※等を核に水田農業の確立を目指します～

100haを超える経営規模の個別経営体やJA出資法人等を主要な担い手と位置づけ、水田農業経営の確立を図ります。併せて、人・農地プラン等を活用しつつ、担い手への農地の集積・集約化を進めます。

また、住民との連携による地域で水田を支える仕組みを支援し、水田農業の維持・発展を図ります。

### 背景

- 尾張西部地域では経営規模が100haを超える大規模個別経営体が、東部地域ではJA出資法人が、水田農業の主要な担い手として活躍しています。
- 米価の下落傾向を受け、更なるコスト低減や高付加価値化に向けた取組が求められています。
- 農業が持つ多面的機能が注目されるとともに、都市住民の間で農業への関心が高まっています。
- 今後の米政策の転換やTPPの大筋合意を受け、水田農業を取り巻く環境が大きく変化することが見込まれています。

### 主な取組

#### 【大規模個別経営体やJA出資法人等の経営改善の取組の支援】

- ・主食用米と新規需要米の作付バランスの最適化により、所得の向上を図ります。
- ・多収性専用飼料用米品種の導入を推進します。
- ・支払地代や資産管理に要する経費の地主側の負担のあり方の検討を促します。
- ・水稲不耕起V溝直播栽培、疎植栽培等の栽培技術導入による低コスト化、加工用原料野菜を始めとした品目導入及び生産安定を支援します。
- ・経営規模に応じた適正な雇用労力の確保、経営管理能力の向上を支援します。
- ・特別栽培米、酒米などの高付加価値米の導入・普及に努めます。

#### 【地域で水田を支える取組の支援】

- ・地域共同で行う地域資源（農地、水路、農道等）の質的向上を図る活動や住民との連携によるサポーター制度、その他農地を維持管理するための組織づくりを支援します。

#### 【農地の集積・集約化の促進】

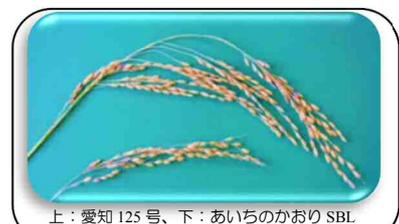
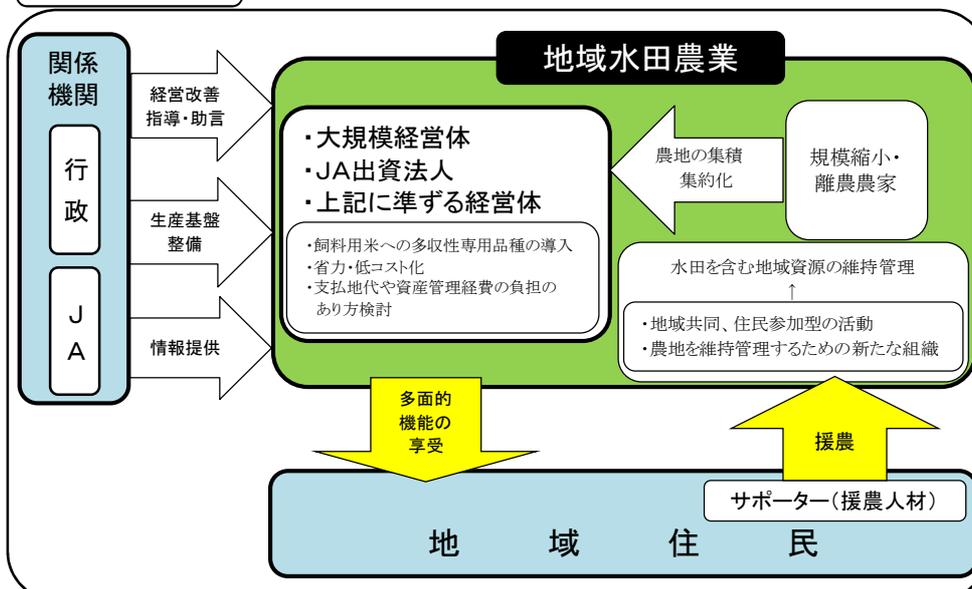
- ・農地中間管理事業や利用権設定事業等を活用し、地域の実情に応じて、担い手への農地の集積・集約化を促進します。

#### 【農業生産基盤整備の推進】

- ・農地の生産性を維持するため、農業水利施設等の計画的な更新・長寿化を推進します。

### イメージ図

※JA出資法人：農協が出資する農業生産法人



多収性専用品種



水稲不耕起V溝直播

# 1 あいちの農業 元気な担い手の確保・育成プロジェクト

## (3) 園芸産地のパワーアップ

### ～露地野菜産地・果樹産地のパワーアップと施設園芸における

### ICT活用を図ります～

園芸産地のパワーアップを図るため、省力栽培体系の確立や技術改善などによる露地野菜産地の省力技術体系の確立、無核ブドウの高品質・省力化などによる果樹産地の経営向上、ICTの活用等による施設園芸産地の振興に取り組みます。

#### 背景

- 本地域は、伝統ある都市近郊産地として、多種多様な野菜・果樹を生産してきました。
- しかし、高齢化などによる担い手の減少傾向が、生産構造分析調査によっても明らかになっており、産地活力の低下が懸念されています。
- 一方、農業総合試験場が開発した「あぐりログ」をはじめ、ICT\*を活用した施設内環境制御の取組が進められています。

#### 主な取組

##### 【露地野菜産地のパワーアップ】

- ・大規模露地野菜法人の技術改善を支援します。
- ・露地野菜(ネギ、ブロッコリー等)栽培の省力栽培体系の確立を図ります。
- ・JAや市場の子会社による産地振興、カット野菜工場等食品産業との連携を推進します。

##### 【果樹産地の経営向上】

- ・モモ栽培を支援するサポーターを養成します。
- ・新たなイチジク生産者の確保と育成を推進します。
- ・無核ブドウの高品質・省力化を推進します。

##### 【ICTの活用等による施設園芸産地の振興】

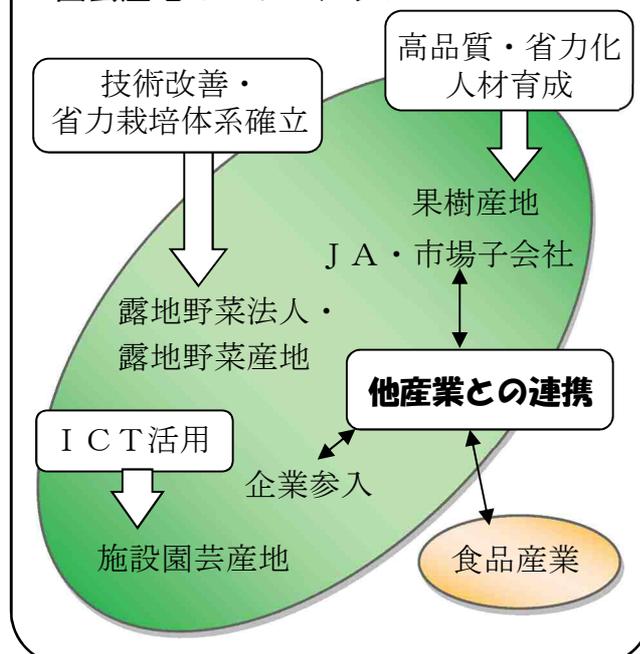
- ・ICTを活用した環境データの分析による施設園芸作物(ナス、トマト等)の栽培管理技術改善、生産性向上を推進します。
- ・施設園芸参入企業との連携による産地振興を推進します。

\*ICT: 情報通信技術



#### イメージ図

#### 園芸産地のパワーアップ



## 2 地元応援プロジェクト

### (1) 都市農業の推進

～市町や農業団体等と協力して、農業体験の取組を通して農業の理解促進を進めます～

新鮮な農作物の供給、防災空間の確保など、多様な機能を有する都市農業の維持・発展を図るため、市町、農業団体等と連携して、さまざまな農業体験の取組を支援し、農業理解の促進に努めます。

#### 背景

- 平成27年4月に、都市農業振興基本法が成立しました。
- 都市住民との交流型の農業経営「農業体験農園」が、名古屋市天白区、緑区など管内6園で開園されています。
- 市町、JAにおいて、田植えや稲刈り、サツマイモ掘りなどの農業体験が実施されています。

#### 主な取組

##### 【農業体験農園による農業への理解促進】

- ・農業体験農園\*の開設・運営を支援するとともに、都市住民に対し身近な現場から農業の情報を発信します。
- ・農業体験農園の整備を推進するため、JAが園主をサポートする仕組みづくりに取り組みます。

##### 【JAが主催する学校の体験農園等の運営支援】

- ・JAが主催する小学校等の体験農園設置等を支援します。
- ・管内で作付面積の多い「あいちのかおり」を中心とした水稻の田植え・収穫体験を推進し、農業理解と地元産の作物への愛着を醸成します。
- ・親子で参加する農業体験を支援します。

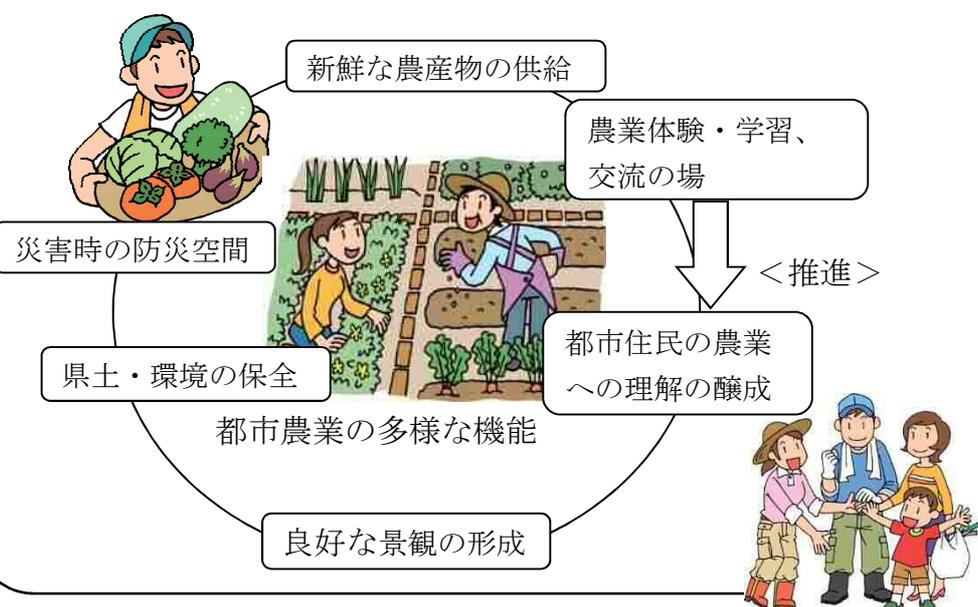
##### 【耕作放棄地を活用した農業体験農園の設置推進】

- ・市町、JA、企業等と連携し、耕作放棄地を活用した市民農園や農業体験農園の設置を推進します。

※農業体験農園・農家が自分の経営する農地において1年を通じて入園者に指導し、農作業を体験してもらう仕組みの農園

#### イメージ図

##### 【農業体験等による都市住民の農業への理解促進】



農業体験農園



小学生の農業体験

## 2 地元応援プロジェクト

### (2) 直売所の地域交流拠点化

～直売所を地域交流拠点として、生産者と消費者との交流を促進します～

直売所は、多様な担い手の販路を確保するとともに、「もっといい農産物づくり」に取り組むことで、農業所得の向上を目指します。また、消費者が直売所を活用することで、新鮮・安全・安心な農産物を知って感動、買って感動、触れて感動し、農林水産業への理解を促進します。さらに、名古屋市及び名古屋市近郊の直売所を地域交流拠点として、生産者と消費者のつながりを強化し、地元を応援します。

#### 背景

- 尾張地域には、83か所の直売所があり、年間利用者は延べ5,400千人の利用者がいます。
- 身近な直売所は、多くの消費者への理解促進を進めるために、有効な場所です。
- 農業団体の直売所の出荷者は、約2,400人です。

#### 主な取組

##### 【もっといい農産物づくり】

- ・生産者の栽培技術力の向上を支援し、「もっといい農産物づくり」を進めます。
- ・販路を確保するため、直売所の整備・再編を支援します。

##### 【直売所での地元農産物の販売促進】

- ・生産者や生産物の情報（生産場所、生産履歴等）を発信することで消費者が安心して購入できる環境作りを推進します。
- ・消費者の信頼確保のため適正な食品表示を推進します。

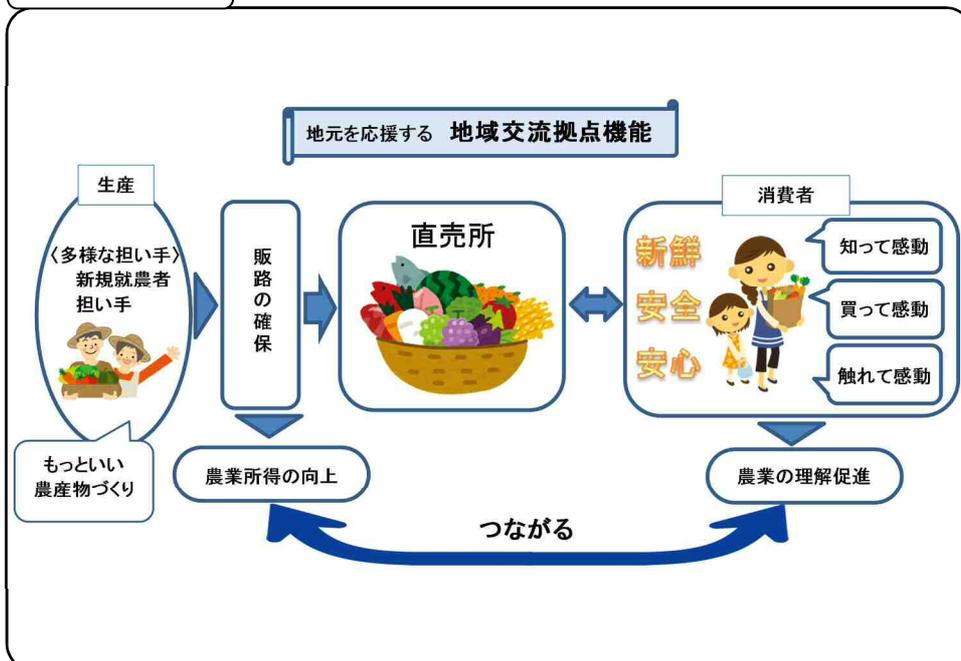
##### 【地域交流拠点化】

- ・直売所を地域交流拠点として、栽培ほ場の見学、収穫体験、食育体験ツアー等を通じて、農業への理解促進に取り組みます。

##### 【直売所のJA・市町間連携の構築】

- ・管内や県内のJA・市町間で連携し、出荷物を融通しあうことにより、各直売所で愛知県産ブランドの強化を図ります。
- ・市町やJA等との連携のもと、地元での県内産農産物の消費拡大運動の取組を推進します。

#### イメージ図



品揃え豊富な産直施設



小学生によるブドウ狩り

## 2 地元応援プロジェクト

### (3) 地産地消・ブランド力の強化

～地元の人が地元のモノを愛し、地元のモノを買って食べる「地元応援」キャンペーンを展開します～

いいともあいち運動を活用した県内外へのPR等により、尾張地域の農林水産物の更なるブランド力強化や県産農林水産物全体のイメージアップを進め、需要拡大を図ります。

#### 背景

- 尾張地域には名古屋コーチンを始め、あいちのかおり（米）、越津ネギ、ハウレンソウ、守口ダイコン、ナス、ジネンジョ、ギンナン、モモ、苗木、サボテンなど、ブランド力を持つものがたくさんあります。
- JAが、管理栄養士を養成する大学と連携し、学生に対して農業に関する講義を行ったり、学生を農作業ボランティアとして受け入れるなどの食育に取り組んでいます。
- 尾張地域の学校給食の米飯給食は、週3.6回、県産の米が年間1,775トン使用されています。

#### 主な取組

##### 【地元のモノを地元で食べようキャンペーン】

- ・農林水産物、加工品やPRイベントでの「いいともあいち」シンボルマークの積極的な活用を図ります。
- ・市町・農業団体による「地産地消の日(第4土曜日)」を推進します。
- ・学校給食での地産地消を推進します。
- ・企業の社員食堂等での県産農林水産物の利用拡大を推進します。

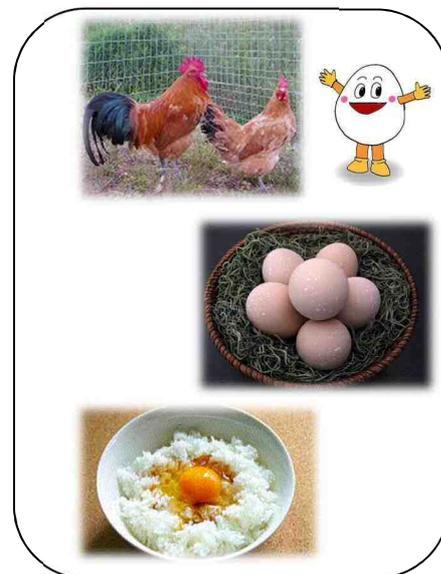
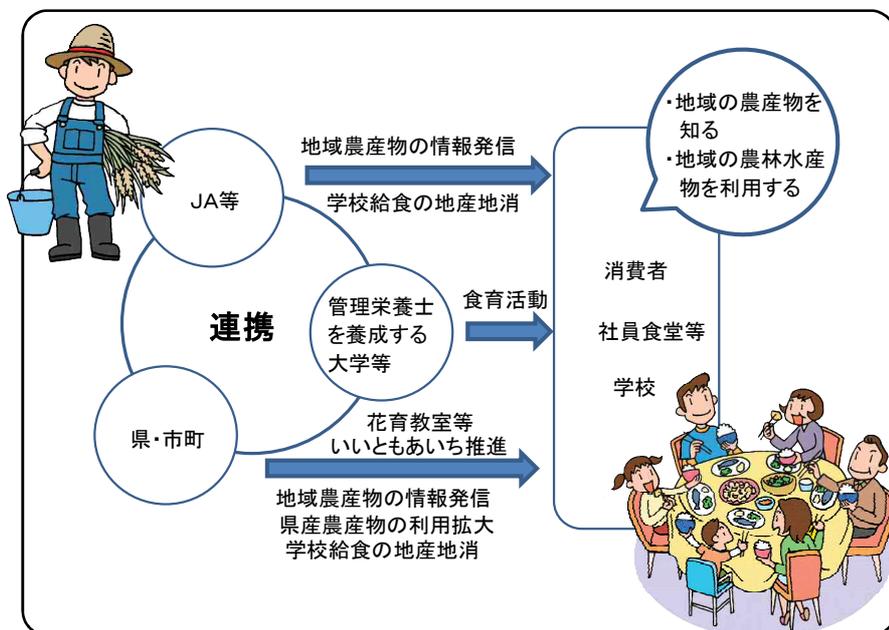
##### 【ブランド力強化】

- ・尾張地域のブランド力を持つ農林水産物に関する情報の発信に取り組みます。
- ・尾張地域のふるさと農産物カタログを作成・PRに取り組みます。
- ・花育教室、花の王国あいちを推進します。

##### 【食育活動】

- ・管内の管理栄養士を養成する大学、JA等と連携強化して、食育を推進します。

#### イメージ図



名古屋コーチンと卵かけご飯

### 3 県民の命を守る農村の防災・減災対策プロジェクト ～県土の強靱化を図り、農山漁村の豊かな暮らしを守ります～

愛知県人口の6割弱が暮らす尾張地域の県民の命を守り、県土強靱化を図るため、ため池や排水機場等の農業水利施設、治山施設の整備や耐震化等を推進し、安全で安心できる豊かな暮らしの実現をめざします。

#### 背景

- 気候変動の影響や南海トラフ地震等による災害発生リスクが高まっています。
- 尾張地域は広大な濃尾平野が広がる地域であり、高潮や津波の影響を受ける甚大な被害が想定されます。
- ため池の決壊や斜面崩壊の防止対策、低平地における排水機の更新が喫緊の課題となっています。

#### 主な取組

##### 【防災・減災機能の向上（耐震化等の推進）】

- ・ため池の決壊防止のための耐震化を推進します。
- ・計画的な排水機場の更新整備を推進します。
- ・山地災害から人命・人家を守るため治山施設の整備・維持管理や適切な森林整備を推進します。

##### 【ソフト対策の充実】

- ・ため池ハザードマップ等による住民への周知徹底を図ります。
- ・排水機の維持管理に対する支援を行います。

#### イメージ図

排水機場

【排水能力の強化】



森林の整備

【災害に強い森づくり】



ため池

【耐震化】

堤体補強(盛土)



治山施設

【山地災害から守る】

